



炎の子



2026年6月11日(木) 第7号

素晴らしい演奏を楽しむ貴重な機会になりました

6月3日(水)石川県立音楽堂コンサートホールにて、松井慶太さんの指揮、春日朋子さんのオルガン、オーケストラアンサンブル金沢の方々の演奏を楽しむ貴重な機会をいただきました。一流の生の演奏を聴くことができ、学ぶことや感じるものがたくさんあったと思います。また、公共の場所での集団行動について考える機会ともなりましたね。今後、2年生では素囃子鑑賞教室、3年生では観能教室と、伝統文化を学ぶ機会が予定されています。自分の目で見て、耳で聴いて感じることは、大変大きな学びになります。今後もこのような機会を大切にしていきたいと思います。



「金沢子どもかがやき宣言」の唱和という大役を、多くの学校を代表して行ってくれた、1組の加門あげはさん。とてもハキハキとした声で元気よく唱和していて立派でした。ありがとうございました。

みんなの感想から

オーケストラを見て、初めて生で見たけど、とても迫力があってすごかったです。指揮の人が一つ一つ楽器を紹介してくれたので、たくさんの楽器の名前を覚えることができました。特に印象に残った楽器は、パイプオルガンです。とても大きくて、輪島塗のデザインが入っていて、世界に一つしかないパイプオルガンだということが分かりました。音楽の授業で習った「春」という曲も聞きました。初めて生で聞いてみて、ヴァイオリンの高い音が会場いっぱいに広がってとてもきれいな音色だと思いました。そして、指揮者体験では、指揮者が変わるだけで、ぜんぜんちがう曲に聞こえるということが分かりました。また行く機会があれば行ってみたいと思いました。(1組 大家 英奈)

1曲目の〈〈コシ・ファン・トゥッテ〉〉序曲のときは、始まったというワクワクがあり、2曲目の〈〈四季〉〉より春第1楽章はCDやビデオできくのと迫力などがちがって生の演奏がとてもすごいと思いました。3曲目のシンフォニエッタ第4楽章は、弦楽器のみでできていていいと思いました。4曲目のトッカータとフーガよりトッカータもパイプオルガンの音色の多さがすごいと思いました。3曲目とは違った魅力があると感じました。5曲目ハンガリー舞曲第5番よりは、指揮者によってすごく演奏が変わることに驚きました。それに合わせている方々もすごいと思いました。6曲目、7曲目は会場で手拍子をしたりして、盛りあがることができましたし、アンコールもあって楽しかったです。全てを通して素晴らしくて、行けて良かったです!!(2組 斉田 彩楓)

今日はオーケストラ鑑賞をして、他の中学生がいっぱい集まっていました。初めてのオーケストラを見て思ったことがあります。1つ目は、人の多さです。人の楽器はみんな違うものを使っていて、それぞれの楽器から美しい音がしていました。自分的に好きな楽器はヴァイオリンです。ヴァイオリンの高い音が好きです。2つ目は、持ち運びのできないパイプオルガンという楽器が特徴的でした。パイプがいっぱいあって大きい笛みたいなものもあり、とにかく大きな楽器でした。パイプオルガンにはいろんな音があって、弦の音やトランペットなどの音もして、高い音も低い音も感じれました。低い音からはめっちゃでかい低い音がでて強そうな感じがしました。いろんな楽器の音が感じれていい体験をできました。モーツァルトやMrs.GREEN APPLEも聞いていつもとちがう体験ができてうれしかった。(1組 川合 奏市郎)

オーケストラを聞いてみて、とても迫力があってびっくりしました。トランペットやヴァイオリンの音の裏にもよく聞くとほかの楽器の音が聞こえてきて、よく聞けば聞くほどいろんな音が鳴っていました。低い音と高い音がとても心地よかったです。パイプオルガンはいろんな楽器の音が出ていたのですごいなと思いました。パイプの数が五千本以上と聞いて、中がどうなってるんだろうと思いました。たまに自分の知ってる曲が流れたときはテンションが上がりました。手拍子をするとき人数が多かったので音がとても大きかったです。また聞きたいです。(2組 山崎 武琉)

今回オーケストラを鑑賞して、とても驚くことがたくさんありました。テレビで見るのとは迫力が全然違うし、とても感動しました。つなげて弾く音や細かいところで切って弾く音など、たくさんの弾き方があってとても面白かったです。テレビで見た感じと今回見た感じの弾き方はけっこう違うところがあったので、いろいろならえ方ができてすごいし、楽しかったです。また、指揮者の役割を詳しく知ってとても驚きました。ファゴットやパイプオルガンなど、見たことがない楽器の音も聴くことができるとも楽しかったです。(3組 安江 耀)

オーケストラ鑑賞を終えて、とても貴重な経験をさせてもらったんだと改めて実感しました。授業でいつもDVDを見ていただけだったのが、目の前で再現されている事で、よりソネットが感じられるなど深い学びを得る事ができました。また、演奏者に目を向けて見ると、日本人以外の方も参加していて、音楽は言語の壁がないんだと思いました。自分の好きな事で異文化共有が出来る事はとてもすごいことだと思ったり、今の私には出来ません。でも共感する事はできるので、まずはそこから始めていきたいなと思いました。自分も指揮者体験や、パイプオルガンをひいてみたいなとも思いました。(3組 宮下 美空)

私は多分、オーケストラ鑑賞を目の前で見たのが初めてで、会場に着いたときに、とても大きくてびっくりしました。楽器の紹介で、知っている楽器と初めて見る楽器がありました。指揮者の方が紹介した楽器には、弦楽器とかいろいろな種類の名前があって、知っている名前だけだったけど、指揮者の方の説明で、音楽をもっと深めることができました。演奏が始まって、今音楽の授業で習っている「ヴィヴァルディ」の春という曲があったり、知っているMrs. GREEN APPLEの演奏があったり、音楽の授業などで聞いたことのある曲がたくさんあって聞いていて楽しかったし、途中で手拍子などで音楽を盛り上げたりすることができて良い経験になったし、改めて音楽を好きになりました。(4組 浜田 彩椰)

全員がとてもすごいと思わせる演奏をしていました。そのおかげで会場は盛り上がる事ができたと思いました。実際に聞いてみると音楽の時間に聞いたときよりもとても素敵だと思いました。曲によって明るい曲だったら元気よく演奏して、少し暗めの曲のときはやさしく演奏していて、どちらもすごい演奏でした。体を使いながら演奏をしていてとってもかっこよかったです。指揮者の人も、体を使いながら演奏をしている人に音の大きさや速さを伝えていて、すごいと思いました。1人1人が素敵な音を奏でていて、リズムや高低が合っていた感動する演奏だったと思いました。私はこのオーケストラ鑑賞をして、思っていたよりもかっこいい演奏だと感じました。(4組 金子 真夕)

初めてのオーケストラ鑑賞でした。画面とかで音楽のときに聞くのより2倍くらい迫力が違いました。生の楽器をあんなに近くで見て聞くことができ嬉しかったです。2回目の曲は音楽の授業で習って楽器とか音とか本物を見れたのですごく嬉しかったです。楽器の紹介では、2mくらいある楽器や、いろんな打楽器など見たことないものがたくさんありました。手とか足とかで演奏にまざることができたことが嬉しかったです。会場がとても広くて、オルガンがめっちゃ大きくて本物っていう感じがしました。初めてのオーケストラ鑑賞、楽しかったです。(5組 中田 梨琉)

たくさんの楽器が見れてとっても楽しかったです。特に、音楽でも勉強していた「春」とアンコールが好きでした。春の音楽では、映像よりも実際に聞くともっと迫力があってめっちゃすごかったです。アンコールの音楽は、何の曲か分からなくてドキドキしたけど、この音楽が楽器で弾けるんだとびっくりしました。人数がたくさんいたのに、息がぴったりで1ミリもずれていなくてとてもびっくりしました。楽器紹介で丁寧に1つずつしてくれてとても分かりやすかったです。このオーケストラ鑑賞で、もっと春の音楽も、楽器ももっと好きになることができ嬉しかったです。指揮者の人が、とっても優しくおもしろく話してくれて、とても楽しかったです。絶対楽器を弾いている時、自分なら集中して真顔になってしまうのに、オーケストラの方たちは終始笑顔で、見ている時も笑顔になりました。もし、またこういう機会があったら行きたいなと思いました。(5組 宮山 せり)

オーケストラを生で聴くのは初めてだったから全く想像がつかなかったけど、1つ1つの楽器を丁寧に説明してくださって、どんな音かも聴かせてくれたおかげで、演奏中に今どの楽器が弾いているのかも分かりやすかったし、知っている曲もたくさんあったからすごく楽しかったです。ヴィヴァルディの四季をちょうど勉強していたから音楽のときに聴いた演奏とそのまんまだったからすごく上手でプロなんだということが伝わりました。強弱がすごく上手で場面ごとに音を使い分けててすごいなと思いました。指揮者の人の表現に演奏する人たちがついていって、自分だったら指揮者の人を見る余裕もなく、それに合わせる余裕もないから、それだけ練習を積み重ねてきたんだと分かりました。自分的にはトランペットの華やかな音が好きでした。またオーケストラ鑑賞に行きたいなと思いました。(6組 藤井 海緒)

オーケストラは、木管楽器、金管楽器、弦楽器、打楽器の四つのグループに分かれて演奏していることが分かりました。私はヴァイオリン、チェロ、ピオラの人たちが心をつとにきれいな音色を出していたのが、とても感動しました。また、今私たちが音楽で習っているヴィヴァルディの春がDVDよりも迫力があり、演奏者の人たちが体を使いながら、指を素早く動かしていたので、体を動かすことが音程やリズムを完璧にするコツなのかなと思いました。指揮者を見ると、持っている棒でリズムや速さが変わっていたし、音程が高いか低いかも変わっていたので、指揮者はオーケストラのメンバーで一番大切な人だと改めて感じました。観客席の人たちとやる手や足を使うリズムがオーケストラの人たちとやっている感じがして、とても不思議で楽しかったです。(6組 増井 優妃)